

Go Beyond～今の自分をを超えてゆけ！～

校長漫筆記

令和8年7月16日
姫路市立高等学校
校長通信 第16号
文責 平山智樹

チャイムのない夏休み、挑むのは「昨日の自分」

満開の桜とともに、私たちの姫路市立高校が産声を上げてから1学期が終了しようとしています。「Go Beyond 今の自分をを超えてゆけ」を掲げ、誰も歩いたことのない道を切り拓く、挑戦の連続だった3か月半でした。

新しい環境への戸惑いや、思い通りにいかない葛藤もあったかもしれません。しかし、日々の授業で見せた真剣な眼差し、部活動で汗を流し、仲間と声を掛け合う姿、そして自ら問いを立てて動き始めた探究学習の熱量。そのすべてが、この学校の新しい歴史の1ページであり、君たちが「昨日の自分」を超えようともがいた、誇るべき足跡です。まずは、この1学期を走り抜いた自分自身に、そして共に歩んだ仲間に、大きな拍手を送ってください。



明日からの夏季休業。学校を離れ、チャイムの鳴らない時間をどう過ごすかで、2学期の景色は全く異なるものになります。「Go Beyond」の実践の場として、この夏、君たちに4つの挑戦を求めます。

【勉学に挑む】

「やらされる勉強」から「自ら掴み取る学び」へ。1学期の弱点を克服するだけでなく、知的好奇心の赴くままに深い学びへダイブしてください。

【部活動に挑む】

暑さに負けず限界の先へ。技術向上だけでなく、チームや仲間、そして自分のために何ができるか考え抜く夏にしてください。

【探究学習に挑む】

自ら設定した「問い」を学校の外へ持ち出しましょう。フィールドワークに出かけ、本物に触れ、大人たちの話を聞き、君たちだけの答えのタネを見つけてください。

【興味・関心に基づいた生活に挑む】

スマホに「使われる時間」を、自ら「生み出す時間」へ。長期休業だからこそできる一冊の分厚い本を読む、旅に出る、新しい芸術に触れる、家族のために料理を作るなど、「心を動かす体験」に貪欲であってください。

現状維持は楽ですが、そこから新しい未来は生まれません。目指すのは、まだ見ぬ自分に出会うこと。たとえ挑戦して失敗したとしても、それは「この方法ではうまくいかないと分かった」という大きな前進です。

この夏、誰かと比べる必要はありません。比べるべきは「昨日の自分」です。9月、一段と逞しくなった君たちと再会できることを楽しみにしています。限界を決めず、恐れず、その先へ。

さあ、いこう。Go Beyond！